

『事務センター』で 学校事務は解体する？！

学校事務が激しく変わろうとしている。今や学校事務の共同実施がトレンドである。

都立高校では、各校1～2名減で「事務センター」が動き出した。東京の動きが埼玉に波及するのは、時間の問題か。東京都は、コア的な行政以外は外部委託、区市町村への権限委譲を行う方針を固めた。

学校事務が解体するかどうか？この答えは、少しでも学校事務、そして学校自体を良くしようと頑張ってきた私たち全事務職員が出さなければならない。まず、現場の実態を聞いてみよう。

日時；2006年11月18日(土)14:30～16:30

会場；県民健康センター会議室(第二庁舎並び)

基調報告 「学校事務職員をとりまく全国情勢」

中村 文夫 ・ 前自治労学校事務協議会事務局長

講演 「東京都の学校事務職員制度への新たな展開」

伊藤 真一 ・ 東学書記長

「東京都の高校事務共同実施の実態について」

戸張 治 ・ 都庁職都立学校支部第五分会執行委員

学習会後講師を囲んで懇親会を行います。

主催；自治労埼玉県職員労働組合学校支部

学校事務ネットワークさいたま

*この学習会は、最初組合内の会として設定したが、あまりに問題が大きいため多くの皆さんに公開することにしました。どうぞお気軽に情報を仕入れてください。